

第4回大阪市都市計画審議会専門部会 会議要旨

1 日時 平成25年3月19日(水) 午後7時から午後8時16分

2 場所 大阪市役所本庁舎 屋上(P1)階会議室

3 出席者

[委員]

橋爪部会長、嘉名委員、長町委員、加藤委員、北委員、櫻内委員、
佐藤委員

[オブザーバー]

川上大阪府都市整備部総合計画課長、山下大都市まちづくり推進室長

[本市出席者]

佐藤計画調整局長、高橋計画部長、角田計画調整局開発調整部長、
寺本都市計画課長、山田計画調整局デザイン施策担当課長

4 議案等

- ・御堂筋の活性化に関する検討調査

5 議事要旨

- ・事務局より資料に基づき、今後の御堂筋沿道(淀屋橋～本町間)のまちなみ形成の考え方について、景観シミュレーションによる検証を加えながら説明を行った。また、最終とりまとめ案及びパブリックコメントに対する回答案の内容について事務局より説明を行い、各委員からの意見をいただいた。
- ・橋爪部会長より、以下の内容で部会のとりまとめを行った。
部会では、沿道の活性化、デザインシミュレーションを中心とした景観面を中心に議論してきたが、今後、①基壇部と最高高さの規制する都市計画的手法、②高級賃貸レジデンス誘導方策、③第三者委員会の具体の制度設計、④ビル建替えの動向把握の4点について、行政の方で引き続き検討していただきたい。
- ・①～④の課題を報告書に入れて、部会の報告書として取りまとめ、次回の都市計画審議会に報告することとした。

■主な意見

- ・50mの軒線を確保することと、地域の活性化に資することは良い。
- ・50m以上を4mセットバックして、 $D/H=1/2$ とすることで軒線を強調する効果がある。
- ・今後、建物のデザインをどのように誘導するか。第三者委員会の中身など具体的な制度設計が必要。
- ・エリアマネジメントを検討し、沿道で自主的にクオリティーの高いものを作るべき。
- ・高さの誘導や基壇部の決め方について、都市計画での位置づけを検討してほしい。
- ・実効性を高めるためにも、建替えに向けた協議を進めてほしい。
- ・今回は御堂筋沿道が中心であるが、船場全体の活性化も検討してほしい。

- 良い案をまとめてもらった。実際にどう活かしていくのが重要。
- 沿道の手企業も先行して活性化に取り組んでほしい。
- 50mのラインは文化遺産的に残し、50mを超えて建てることには賛成である。
- 沿道環境を保全する面からもD/H=1/2が良い。ただ、オフィス系ビルは良いが、ホテル系ビルは50mより低く設計してくる懸念がある。基壇部(50m)の上と下のデザインの切り替えについては、選択制でいいのではないか。
- 今回のパースは良い。御堂筋の活性化をめざすことは良く理解できる。
- 第三者委員会とガイドラインとの取り決めをどう実行していくのか。
- 低層部のにぎわい部分(2層分)のデザインを切り替えることを義務化するのか。2層に限るのかも考える必要がある。
- 基壇部でのデザインの切り替えは、選択制が良い。
- 経済的インセンティブについては、民間とも意見交換してほしい。
- 日本を代表する道づくりをお願いしたい。広告物は規制してほしい。
- 景観について、高さ50mの軒線スカイラインをそろえながら、後背部に高層建物が出てくることについて、現行制度より良くなるとは思わないが、御堂筋の活性化やにぎわいの誘導のために必要なものであり、また景観について一定の配慮がなされており、総合的に判断すると、この案について賛成である。
- 御堂筋に直行する東西の通りはそれぞれに特徴があったので、これを機に、東西の通りの活性化も検討してほしい。
- 建替えの推進にあたっては、街区の一体化の方向でも進めてほしい。